

淀<sup>よど</sup>

拾遺

いづかたに鳴て行らんほととぎすよどの渡りのまだ夜ふかきに

忠見

淀の水車はむかしよりありて、耕作のためにす。秀吉公の室淀殿これに住し給ひしより、城中の用となす也。